



ゆり北

第67号 (7期第6号)

発行・光が丘パーク タウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話 03 (938) 9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

第二回

自治委員会開催

八十九年度第二回自治委員会が九月三十日(土)十二号棟集会所において開催されました。内容は今までに取り組まれた夏まつり等のイベント、新聞討論に寄せられた意見に対する自治会としての考え方、さらに、当面の活動方針について話し合いを行いました。

△ミニキャンプ・夏まつり▽

ミニキャンプは児童四十一人大人二十六人が参加、子供たちの夏休み最初の楽しい企画として定着しています。夏まつりは、台風の中企画を一部変更して行いました。悪天候の中でも実行委員が一丸となって対応した結果、例年と変わらない参加があり成功させることが出来ました。

今回は実行委員会形式を定着させるため自治委員・世話人さんに広く参加を呼びかけた結果、実行委員四十七名・子供三十一名で実施できました。本当にご苦労様でした。

△新聞討論について▽

会報ゆり北九月号第六十六号に自治会役員会のまとめを発表。駐車場問題については公団交渉や検討会を設置して管理組合とも話し

合うことにしています。

会員・非会員の問題については、今まで通り全員加入を目標にする立場から、全住民を対象に活動を進めることとします。

△当面の活動について▽

- 消防施設見学会―十月十四日開催、管理組合と共催二十八名が参加。
- 防災訓練―十一月五日(日)午前赤塚新町小学校庭で実施。初期消防訓練高所救出訓練等、団地の実態に合った訓練を考えています。(別掲)
- 二、住宅・設備問題について
- 住戸内補修実態アンケートの実施。十一月中旬にアンケート調査を賃貸住宅を中心に行い、六年を経た住宅内の補修・故障箇所の実態を把握します。
- 三、文化体育部の活動について

● 町会運動会―好天の体育の日十月十日開催。ゆり北からは親子で約六十名が参加、日頃の運動不足の解消に努めました。成績は十三町会中第八位と検討、来年は上位をめざしましょう。

● 文化展―十月下旬にポスターで出展の呼びかけを行う。十一月下旬を目標に開催予定、前回出展者を中心に実行委員会を結成して取り組みます。

四、年末の取り組みについて
団地内大掃除、パトロール、自転車整理は例年通り実施します。詳細はポスターでお知らせします。

五、光連協関連の取り組みについて
● 光が丘駅前パチンコ店出店反対の陳情署名について
すでにご存じの方もいると思いますが、公団分譲予定の超高層住宅の下階にパチンコ店出店の計画があり周辺自治会から反対の声が上がっています。ゆり北自治会としては「パチンコ店は当地区内に積極的に誘致する施設とは思えない」さらに「景品の現金交換等に伴い様々な問題が発生する恐れがある」との見地から出店については反対することになりました。

も用意致します。

雨天の時も、体育館で応急救護訓練などを行います。

尚、当日は「ゆりの木通り」に消防車が入ります。一台でも不法駐車がありますと訓練に支障が有ります。絶対に駐車されないようにお願い致します。

「災害に強い町」として、この団地にも様々な防災設備が有りますがそれを生かすのは、私達住民です。また、連携プレーが被害を最少に止めます。「いざ」という時にまごつかないために、みんなで防災訓練に参加しましょう。



さる十月十日下赤塚小学校校庭にて大運動会が開催されました。当日は天候にも恵まれ楽しい一日でした。

今年は「ゆり北」も参加人数が増え、成績も十三団体の中で八位となりました。そこで本運動会に参加した人の声を聞いてみました。

藤井本

天気は、快晴朝からやるき満々で出発しました。ゆり北へ来てから、始めて参加しました。今まで全然興味もなく、参加したことはなかったのですが、お友達にさそわれ、色々と賞品もお弁当もでると聞き出場することにしました。子供達も運動会は、好きなようで喜んで来ました。お父さんは、渋々ついてきたのです

板橋区下赤塚地区 区民大運動会

さて、前号、ゆり北広報

の「ドンジリ」を脱出しようとの呼びかけに一言、私は、むしろドンジリも結構だと思ふ。「ゆり北は、毎年ドンジリだけど、皆、楽しそうにやってるよ」とまわりから思われ、そうなた方が、良いと思うが如何でしょうか。より多くの人が参加し、楽しかった、又、来年も来よう、そうなる事を願って、今年の運動会に参加した感想にしたいと思います。

最後に、役員の皆さん、早朝からあと片付けまで、大変ご苦労さまでした。

平野

会への参加をおすすめします。もちろん我家は又参加するつもりでいます。最後に、やる気になったお父さんがリレーに出場して、接触して転倒、左手捻挫、あっちこっちにすり傷で家族全員つらい物がありません。これでゆり北の順位が下がったと思いますので、ゆり北の皆様ごめんなさい。

当日は好天に恵まれ、まさに運動会日和となりました。九時から始まった開会入場行進には、ゆり北の七十七名近い人達の列も、堂々行進しました。競技は、十九種目、そのうち四種目が、町会対抗で得点を競います。平成元年になり、昨年の自粛から、今年は応援に鳴りものが入り、町会対抗になると、にぎやかな応援風景も見られ、昼休みは、アトラクションに、各町会婦人部による民舞が校庭いっぱいになり広がりが見受けられました。又、赤三中のブルースバンドも軽快なリズムで、運動会に花をそえました。

新聞討論

住宅施設・環境問題 (その四)

aさん ゆり北に住んで六年余が過ぎましたが、団地の中の小さな公園や大きな光が丘公園など緑が多く、都内では、ぜいたくな位恵まれていると思います。

細かいことで気になる点があります。たとえば、前の晩誰かが吐いた汚物がそのままになっていたり、けい光灯が長い間切れたままになっているなど、住民と管理事務所が連携してアメニティを確保していくことが大切だと思います。また、違法駐車をなくすために設置されたフラワーボックスなど、本当に必要であるものなのかどうか、再考する余地もあると思います。

中学校用地も、区にその意思がないようで、噂では、公団が将来住宅を建てるそうです。自治会も、この問題に正面から取り組んで下さい。

bさん こういう団地では、個人個人のモラルアップが大変重要であると考えています。例えば、駐輪場の整理整頓、ゴミの捨て方、不法駐車、早朝の納品車の騒音、建物の不法破損、近隣の迷惑になるような布団たたき等挙げればきりがありません。

本来モラルとは法律ではありませんので個人に責任はないのですが、団地では、団体生活と同じであると考え、全て生活態度を自分本位に考えず「ゆり北」が家族であると思えば、もっと団結することもでき、かつ気持ちよく楽しい生活ができると思います。最後に駐輪場の拡張が必要だと考えます。都会では、自動車の利用回数よりも自転車の方が多

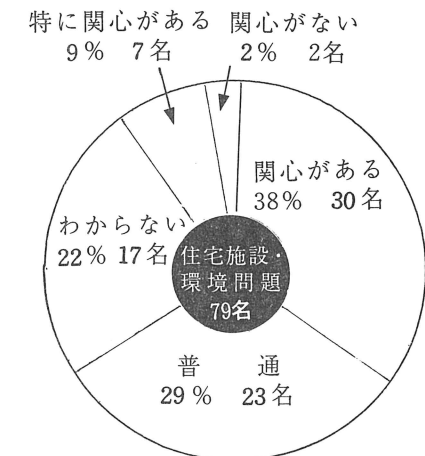
cさん 当団地に住み早六年が経過し、住居の改造・改築を考えている

個々のゴミ処理の仕方によって、住民の意識が問われています。

eさん 年々あちこち補修箇所が増えてきています。例えば、居間の開き戸の開閉不良、ベランダの亀裂（雨降りの度はがれる）、水廻り部品の補修、湿気によるカビ、共有部のヨゴレ（玄関のピロティやエレベーター内等）です。賃貸住宅の負担区分はかなり明確ですが、分譲住宅では、専用部分は個人で維持管理する建前上、補修方法や原因の究明対策等については個人が行うこととなります。そこで、補修のマニュアルみたいなものが出来れば大変助かります。また自治会の住宅施設環境問題のアンケート結果が、実態に反映されることを期待します。

fさん 十号棟の渡り廊下の下の鳩のフンが問題であると思っています。ところ、そのうち、私の棟の出窓や屋根にも鳩が来るようになり、窓はフンで汚れ、階段には羽根が散乱する状態になりました。ほうきやカサで

追いついてもすぐ戻って来てしまい、鳩の鳴き声にユウウツになっている今頃です。



虫の害は去年より少なくなった気がしますが、そうなればそう言ったで、消毒の害が心配な気がします。鳩といい、虫といい、私たちとう

『お父さんの屋さがり』

タテ長屋

高島平では、十三階建て高層団地の三階に暮らしていました。同じ間取りの家が、上に十、下に一（一階は商店街）あることになります。

妙な連想ですが、二階から十三階まで透けて見えるとしたら、例えばトイレなど、ズラリと十二人がタテに並んでしているのだな、と思ったことがあります。テレビや冷蔵庫、あるいは食卓や家具などの置き場も、上から下まで同じ所にタテに並んでいるのです。普通の生活でしたら、食事する時刻などほとんど変わりは

ないのですから、これまた上から下まで、タテに同じ位置で、食卓を囲んでいることになります。食事だけではありません。テレビを見るのだった、寝るのだった、ナニだって……。

最初は何となくイヤだな、と思っていました。で、せめてもの差異化の努力と称してDKで寝たり、生理的に不自然な時刻にトイレに座り込んだりしたこともあります。

まく共存していくことも考えなければなりません。難しい問題です。また、排水が完全でなく、雨の日の朝など、水が道路にあふれている箇所があります。私見ですが、これは設計上のミスだと思われます。一日も早い改修を希望します。

八号棟 坊野 秀美

「そんな妙な連想をするからいけないのよ、住んでいる人間がそれぞれ違うのだから、中身は違うのよ。第一、あなたがそうやって想像するだけで、現実に見えるわけじゃないじゃないの」と、妻から諭されても釈然としません。

そこへあの有名な「自殺騒ぎ」です。一頃は連日のように、新聞の紙面に取り上げられ、いわゆる識者が熟知りにナニか言っていました。いわく「あの建物自体が無機質で非人間的で、死にたいという気持ちを起こさせるんですね」とか、「不自然で人工的なあの様な建物を見ていれば、逆に死が身近に思えます」とかいった無責任な論評です。

私は怒り狂いました。だったら高島平の住民は全員死んでいなければおかしいことになります。死んだ人はすべて他所からやって来た人間ばかりなのです。

以来、私は、頭上にずらりと居並ぶ見知らぬ住民に、そこはかとない友情と連帯を感じるようになったのでした。

敬老の日に招かれて

十号棟 高槻 茂

九月十五日は敬老の日を祝うかのよう朝から好天気恵まれた。今年も例年の通りゆりの木北自治会より招待を受ける。誠に感激の至り

である。定刻少し前に会場に入るともうすでにご招待を受けた方々が大勢着席されている。ズーと見渡すと皆様老人とは見えないほど若々しく元氣の様子であった。冒頭吉柳会長より祝辞があり我々老人の健康と長命を願う切々なるお言葉に深く心を打たれる。会場は終始和やかさと賑やかさであり、後半となると歌あり踊りありで手拍子と歓声がいつ尽きるともなく続いていた。やがて閉会となり心のこもった記念品と持ち切れない程のお土産を戴き、楽しさの冷めやらぬまま帰路についた。此の度の敬老会には自治会の皆様が熱心にお世話下され有り難く衷心より厚くお礼申し上げます。終わりに当たり皆様のご期待に添い得るよう健康に留意し健康増進に努力決意するものであります。

車止めの内側—
緊急時以外は車両進入禁止です

車止が外されて、団地内に車が駐車しています。子供たちに対し危険ですし、石だたみなどに破損の恐れもあります。（特に十号棟と十二号棟の間の車止め）皆様も進入車を見かけましたら、注意して下さいさようお願いします。

「シリーズ・バードウォッチング」は紙面の関係より休みます。来月掲載しますので楽しみに！

編集後記



昔から「光陰矢の如し」というように時がたつのは非常に早いもので、年を取るほど早く感じるもののようなのです。そこで、普段の生活にもアクセントを付け、毎日何か変わった事をやるように心掛たらどうでしょうか？
天高く…の秋、アウトドアでのスポーツやレジャーにと楽しい季節！ウエストの方も気をつけましょうね。